

新庁舎整備事業市民説明会 2021
意見交換結果概要（12月25日太田地区開催分）

- 日 時 令和3年12月25日（土）午前10時～11時30分
- 会 場 生涯学習センター201
- 出席者 20人（参加市民）
- 内 容
- 【質問・意見・提案等】
- ⇒【回答】

□仮に美濃太田駅周辺に新庁舎が整備された場合、現庁舎は今後どうするのか。新庁舎整備事業は美濃加茂市の市有地だけでやるのか、取得するのか。取得する場合、積算して建設費用に入っているのか。

サテライトが強化されれば市役所へ行く人は少なくなるのではないかと。連絡所を第二の市役所的な部分で活用してほしい。

⇒現庁舎は取り壊し、跡地は極力公共公益的な施設として活用したいと考えている。今後、市民の皆さんの意見を伺いながら決めていきたい。

以前は市有地のみで整備する予定であったが、駐車場などの整備のため土地の取得をすることにした。取得に要する費用は積算資料の用地購入費用に含まれている。

サテライトについて、地域の課題を地域で解決する、色々な行政サービスの手続きができるという機能を充実させたいという希望が各地区で多い。職員や予算を充実させて、市民の利便性を高めていくことは非常に大事と考えており、積極的に進めていきたい。

□なぜ浸水区域につくるのか。防災拠点として機能しないのではないかと。

⇒防災拠点として災害対策本部の機能が、災害時に存続することが大事である。前平公園や牧野ふれあい広場など、自衛隊等が活動できる場所も確保する。

新丸山ダムの整備が始まっている。完成すると、9.28 災害の雨量でも河川の増水を抑えることができるようになる。また、流域治水ということで、木曾川流域において国や県、電力会社等各企業等と連携し、増水の恐れがある場合は、事前放流をすることで浸水被害を軽減する対策もしている。

□市の執務スペースは、他に色々な機能を入れるとすると不足するのではないかと。

⇒執務スペースは今よりも広くなる計画である。1～5階が執務スペース、6階がコンベンション機能、道路に面したところに商業機能という構想であり、今後具体的な設計等でこういった形が一番良いのか検討していく。

□市民交流スペースはどこになるのか。

⇒コンベンション機能に加えて、商業的機能も市民交流スペースであるが、商業ばかりではなく子育て中のお母さん方が集まったりするようなスペースも含めた整備を考えている。

□もし市役所が美濃太田駅周辺以外にできれば、駅周辺には垂直避難できる場所がなくなる。駅周辺以外の候補地のライフサイクルコストには、そういった垂直避難ができる施設を整備する費用は含まれているのか。

⇒例えば前平周辺に新庁舎を建てるのであれば、（市商業ビルに加えて）民間の施設を活用することなども考えていくが、ライフサイクルコストには入れていない。災害の低減をしっかりと考えていく。

□美濃加茂は非常に様々な支援が多いと感じている。子どもが、みんなが来たいと思う幸せな街が良いと言っていた。新庁舎は子どもたちの負担が将来増えるかもしれないが、総合的に見て一番良いところに建ててほしい。

屋上の活用は考えているのか。

⇒今回の基本計画として提案している美濃太田駅周辺というのが、総合的に判断して最適地として市民の皆さんに説明している。

今回の説明会の中で若い方からも屋上を活用してほしいと意見があった。積極的に活用していきたいと考えている。